

令和元年度 牡鹿半島周辺・以北_貝毒原因プランクトン出現状況 (NO. 4)

令和元年8月5日
水産技術総合センター

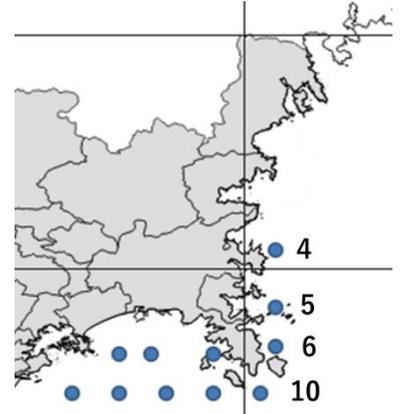
- 1 調査月日 令和元年7月31日
- 2 調査地点 右図の4定点
- 3 概要 (詳細は下表のとおり)

1) 水温: 表層で18.8~21.2°Cの範囲にあった。

2) 貝毒原因プランクトン出現数

・麻痺性貝毒原因プランクトン (*Alexandrium* spp.) は、確認されませんでした。

・下痢性貝毒原因プランクトン (*Dinophysis acuminata*) は、確認されませんでした。



調査地点図

調査結果表 (4 定点)

St.	時間 水深 (m)	測定層 (m)	透明度 (m)	水温 (°C)	塩分	貝毒プランクトン出現数(細胞数/L)							
						<i>Alexandrium</i> spp.		<i>D. fortii</i>		<i>D. acuminata</i>		他 <i>Dinophysis</i> 属	
						7月31日	7月1日	7月31日	7月1日	7月31日	7月1日	7月31日	
4	12:41 81.0	0	3.0	20.6	33.4	0	0	0	170	0	0	0	
		10		18.0									33.6
		20		16.7									33.8
		30		15.1									33.9
5	11:57 30.0	0	5.0	19.6	33.6	0	0	0	230	0	20	10	
		10		16.7									33.8
		20		15.2									33.9
		30		14.5									33.9
6	11:23 64.0	0	7.0	18.8	33.7	0	0	0	230	0	0	0	
		10		16.4									33.8
		20		15.1									34.0
		30		14.9									34.0
10	10:40 81.0	0	6.0	21.2	33.7	0	0	0	80	0	0	0	
		10		16.1									33.8
		20		15.3									33.9
		30		14.8									34.0

※貝毒プランクトンサンプルは0~20m層における柱状採水